



## Hiroshima University Study Abroad Program 2015



### INTERNATIONAL NURSING and REHABILITATION in Spain

Organized by  
Faculty and Department of Nursing  
Campus Catalunya  
Universitat Rovira i Virgili

**研修期間:**2015年3月11日～3月22日

**参加者:**看護学専攻 博士課程後期1年1名、学部3年1名、学部2年2名

理学療法学専攻 学部3年1名、学部2年1名

引率 副学長 西谷元 講師 二井谷真由美

(平和人権グループ 経済学部2年2名、文学部3年1名、総合科学部2年2名、歯学部2年1名)

**対応学部:**Universitat Rovira i Virgili 看護学部

**滞在都市:**Tarragona

Tarragona 市は、スペインの Barcelona から南西約 100 キロに位置する人口約 11 万人の都市である。地中海に面した港湾都市で、物流の要所となっている。あまり聞き慣れない町の名前ながら、その歴史や栄光は古く、特に古代ローマ時代には重要な要衝としてイベリア半島最大の地方首都へと発展し、他の地方都市のモデルともなった。そのため、町のあちこちにローマ時代の遺跡が残されており、「タラコの考古遺跡群」として 2000 年にユネスコの世界遺産に登録された。それらの遺跡は今でもこののどかな港町に溶けこむようにしっかりと保存されており、良好に保存されている遺跡群からは当時の繁栄ぶりを窺い知ることができる。主な見どころはとして、ローマ野外劇場 (Teatro Romano)、ローマ時代円形競技場 (Anfiteatro)、公共広場 ( El Foro)、ローマ水道橋 (悪魔の橋、 El Acueducto Romano denominado Puente del Diablo)、エスピオネスの塔 (La Torre de los Escipiones)、セントセージェス霊廟 ( La villa de Centcelles y la de Els munts (Altafulla))、バラ凱旋門 ( El Arco de Bara)などがある。

**宿泊施設:**ALEXANDRA aparthotel

今年度は、昨年度と異なり、URVの寮に宿泊することができなかったため、ホテル滞在となった。学生は平和・人権グループの学生も含めて、2人でルームシェアした。

設備は、キッチン(冷蔵庫、電磁コンロ、電子レンジ、シンク、食器棚、キッチン道具や食器類は整備)、ソファーとテーブルの置かれたリビング、シングルベッド2台、クローゼット、洗面所+トイレ+バスルーム(バスタブ+シャワー)が整っており、滞在中、快適に過ごすことができた。



### 3月11日（水） 晴れ

21:00 関西国際空港にて平和・人権グループと一緒に結団式を行う。

23:20 トルコ航空 047 便に搭乗、出国。



### 3月12日（木） 快晴

5:40 イスタンブール到着 乗り継ぎ。

学生は2時間の乗り継ぎ時間を有効に使い、西谷先生お奨めのトルのパンなどを購入し、異文化に触れる。

8:05 トルコ航空 1853 便にてバルセロナへ。

10:50 バルセロナ・エル・プラット空港に到着し、入国・通関手続きを行う。

タラゴナまでURVが用意したバスで移動する。快晴の中、日本とは異なる車窓からの眺めを楽しむ。



12:30 ホテルにチェックイン。

13:30 ホテル前のメイン通りで、火・木のみ開かれる「蚤の市」が開かれており、見学した後、西谷先生の案内で、ローマ野外劇場、ローマ時代円形競技場、公共広場などを散策する。ホテル近くのスーパーで買い出し。

17:00 西谷先生の部屋に全員で集まり、夕食会を行い交流を深める。明日に備えて、早めの就寝。

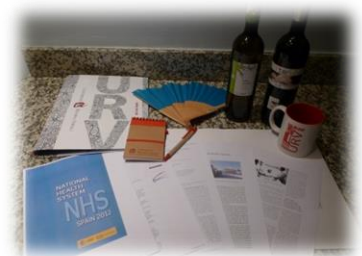


### 3月13日（金） 晴れ

15:00 Welcome to Speech By Prof. Roser Ricoma / Dra. Maria Jiménez/ Prof. Victor Merino

ホテルから徒歩で15分程度の大学まで自分たちで地図をみながら行く。

看護学部長の Prof. Roser Ricoma と本プログラムコーディネーターの Dra. Maria Jiménez、平和・人権グループ担当教員の Prof. Victor Merino から歓迎のご挨拶を受ける。平和・人権グループに参加するURV側学生と広島大学学生同士で、タラゴナ語での自己紹介、日本語での自己紹介などを通して交流を深める。学生と教員に URV から、URV のグッズやプログラムで必要な資料が入ったバインダー、地図やタラゴナの観光ガイド、大学のパンフレット等をいただく。資料はすべて英語で準備されていた。



15:30 Development of the Spanish and Catalanian Health System By Dra. Garcia-Villarubia

教員用校舎内にあるゼミ室で、欧州における保健政策の概論について説明を受けた後、スペインの保健医療システム構築の過程と、地方自治に任されているカタローニヤ地方の保健医療システムについて学ぶ。以後、講義はすべてこのゼミ室で行われた。

17:00 Welcome by the Vice Dupity International Relations Dra. Mar Gutierrez-Colon

URV 国際担当の副学長より歓迎のご挨拶を受ける。

18:00 Tour around Tarragona

ツアーガイドさんの英語による説明を受けながら、世界遺産の街を巡る。



### 3月14日(土)・15日(日)

Free Time Barcelona 市内や、郊外にある聖地 Montserrat などを観光する。

### 3月16日(月) 晴れ

9:00 Mental Health system in Spain By Dra. Dolors Burjales/Dra. Maria Jiménez

ゼミ室で、Dolors 先生からスペインの精神保健医療の歴史、1985 年に大改革された現在の政策等について講義を受けた。Dolors 先生はスペイン語で講義され、それを Maria 先生が英訳してくださった。13 日に資料が配布されていたため、事前学習して臨むことができ理解しやすかった。

11:00 Study visit Mental health Hospital By Dra. Dolors Burjales/Dra. Maria Jiménez

Dolors 先生と Maria 先生の運転する車に分乗し、Tarragona 市から南に 30 分ほどの Reus 市にある、メンタル・ヘルス・ホスピタルを訪問。看護部長と Mental Health Nursing Specialist の実習指導教員の案内で、院内を見学した。本院は、長期入院患者と社会復帰を目指す DayCare 患者両方のケアを行っていた。Reus 市はガウディの出身地であり、1897 年開院当時にガウディがデザインした入院施設が残されており、ガイドさんの説明を受けながら 100 年以上前のハイクラス精神疾患患者の入院の様子を見学した。帰校途中、先生方のご配慮で、ローマ水道橋(悪魔の橋、El Acueducto Romano denominado Puente del Diablo)も見学した。



13:30 URV の学食で昼食(自費)





15:30 Introduction at the hospital care system.

Study visit at the: Hospital Universitari Joan XXIII • RHB department

By Prof. Olivia Hernandez /Prof. Carmen Flores/Dra. Maria Jiménez

URV から徒歩で 15 分ほどのところにある Hospital Universitari Joan XXIII・RHB department を訪問した。看護部長であり、URV の看護管理の教授でもある Carmen 教授と、教育担当であり URV の情報の教授である Olivia 教授から、院内の小部屋で病院の概要と電子カルテシステムについて説明をうけた。その後、リハビリテーション病棟、外科病棟、NICU、小児科病棟、ICU、リハビリテーション室等病院見学を行った。



18:00 URV にもどり解散

### 3月17日(火) 快晴

10:00 Primary care system and Study visit to the Primary Care Center

By Prof. Rosa Aparicio /Dra. Maria Jiménez

ゼミ室でカタローニャ地方のプライマリヘルスケアについて、Rosa 教授からレクチャーを受けた後、Rosa 教授と Maria 先生の運転する車に分乗し、Tarragona 市から南に 1 時間ほどの Cambrils 市にある、プライマリ・ヘルス・ケアセンターを見学した。センターの制度、役割、実施されている保健事業、医療等詳細に説明を受け、センター内を見学した。先生方のご配慮で、風光明媚な海岸沿いを走りリゾート地に立ち寄った後、URV に戻った。



14:00 学食で昼食(URV から)

15:30 Elderly care system in Spain. Introduction at the elderly assistance.

Study visit at the Socio-Sanitari Center.

By Dra. Antonia Martorell / Dra Maria Jiménez

ゼミ室で Antonia 先生から高齢者医療について講義をうけた。スペインは National Health Service に一元化されており、日本の介護保険に該当するものはないとのことであった。Antonia 先生と Maria 先生の運転する車に分乗し、Tarragona 市内にある、高齢者ケア施設を看護師である施設長と師長の案内で見学した。



19:00 Tapas and Castells at Plaça de la Font

人権・平和グループ、看護学部長の Roser 教授と平和・人権グループ担当教員の Victor 教授も一緒にバルで夕食会。その後、Human Castle の練習を見学した。

### 3月18日（水） 快晴

9:50 International Nursing: nursing procedures in different care situations By Prof. Elena Abelló

Roser 教授と Maria 先生の運転する車に分乗し、Tarragona 市から北に 1 時間ほどのところにある URV の Campus Baix Penedes-Comarruga を訪問し、看護学部 2 年生の選択科目である英語による看護過程の講義に参加した。休憩時には URV 看護学生との交流も行え、学生たちはとても楽しく過ごすことができた。



14:00 Campus Catalunya にもどり学食で昼食(自費)

15:30 Complementary therapies in nursing care

By Prof. Neus Esmel/ Prof. Roser Ricoma / Dra. Maria Jiménez

3 年生の選択科目である Complementary therapies in nursing care の演習を受けた。Neus 教授の講義の後、Neus 教授と Roser 教授のデモを受けながら、実際に学生同士ペアになってベッドに横になり Reflexology とチベットの鈴を使った Sound Therapy の演習を行った。薬物コントロールの困難な疼痛などに対する具体的な介入の方法を学んだ。



17:00 Maria 先生の案内でキャンパス内の講義室や演習室、シミュレーション教室などを見学した。

18:00 解散

### 3月19日（木） くもり時々雨

10:00 Introduction to Faculty of Nursing: studies of nursing in Spain By Dra. Maria Jiménez

いつものゼミ室で Maria 先生から URV 看護学部の構造や授業計画などについて説明を受けた。この講義の最後に Maria 先生が「私は 'Nurse for Spain' ではなく、'Nurse for World' を育てています。皆さんもそうなってほしいね」と締めくくられた。

11:30 "Have we met what we expected?" By Dra. Maria Jiménez/ Prof. Victor Merino

Maria 先生と Victor 教授の進行で、平和・人権グループと合同で今回のプログラムの振り返りを行った。学生全員が感想と要望を述べた。保健グループのすべての学生が、病院見学や学生との交流など充実しており、大変満足

し、視野が広がったことを述べた。要望として、到着時に配布された資料を日本で事前に受け取ることができれば予習してくることができるので良いこと、学生との交流時間をもう少し増やしてほしいこと、比較のため私立病院の見学を試みたかったこと、学生の病院実習の様子を見学したいこと、チームアプローチの様子を見てみたかったことなどが挙げられた。Maria先生は難しいこともあるが、次年度に向けて検討すると回答された。



12:30 修了・解散

### 3月20日（金） 雨

10:00 Visit to Reus

URVがチャーターしてくれたバスがホテル前に時間通りに到着し、月曜日にMental Health Hospital の見学で訪問したReusの町を、平和・人権グループとともに再度訪問した。バスのドライバーさんはスペイン語しか話さなかったが、なんとか分かりあうことができた。Reusの町のガイドさんは英語の話せる方で、とても陽気で分かりやすく、主に Antoni Gaudí について施設や資料館を案内し説明してくれた。

14:00 Calçotada Restaurant Sol Ric

Tarragona 市にもどり、Roser 看護学部長、Maria 先生、Victor 教授と一緒に昼食会が催され、スペインの伝統的なお料理をみんなで堪能した。学生はみんなリラックスしており、演習で習ったReflexologyを復習した動画を先生方に見ていただき、大笑いを誘っていた。

大雨だったため、先生方がホテル近くまで車で送って下さり、お別れとなった。



### 3月21日（土） 雨

8:30 昨日と同じドライバーさんが運転するチャーターバスが定刻通りホテル前に到着。チェックアウトを済ませ、全員でバスに乗り、Barcelona 市内へ向かう。

10:30 事前にネットで予約しておいたチケットを持ち、Sagrada Família見学。強風のため、残念ながらタワーにあがることはできなかったが、素晴らしい彫刻やステンドグラスを楽しむことができた。

14:00 定刻通り、チャーターバスがSagrada Família近くの待ち合わせ場所まで迎えに来てくれ、バルセロナ・エル・プラット空港へ。

15:00 バルセロナ・エル・プラット空港に到着し、出国・通関手続きを行う。

17:45 トルコ航空 1856 便に搭乗、イスタンブールを経由し関空へ。

### 3月22日（日） 晴れ

18:55 全員元気に関空に到着し、解散。

## 総括

- ・ Tarragona 市は、町全体が遺跡に包まれたとても安全な町であった。町の人々は大らかで親切であり、学生が安心して過ごせる環境であった。
- ・ 大学側の対応は丁寧で、時間管理もしっかりしており、困ることはなかった。
- ・ URV は英語ができる教員は非常に少なく、医療機関関係者もほとんどスペイン語で講義されたが、担当の Maria 先生が英語に翻訳してくださり、分からない時は図示するなどして対応してくださったため、戸惑いはなかった。
- ・ 経済危機と言われる中、プライマリ・ケア制度が地方ごとに確立しており、医療は住民はもちろん移民・外国人を含めほぼ無料で、効率よく提供されるシステムが構築されていた。日本とは全く異なるシステムであり、最初は学生も理解に戸惑っていたが、地域のプライマリ・ヘルス・ケアセンターと中核病院などの見学を通し、理解を深めていた。
- ・ 学生は、初日の講義時には英語の理解が難しく落ち込む様子が見られたが、Maria 先生のサポートで温かいお人柄もあり、少しずつ慣れ、話すことへの抵抗が少なくなり、自ら質問したり意見を述べたりできるようになっていった。本来持っている英語力はスペインの学生と比べても低くはないため、英語で話すことに対する抵抗をなくし、経験を踏むことによりスペインの学生とも有意義な交流が図れると感じた。

( 文責 : 二井谷 真由美 )